

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
 ※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	ディーキン大学	氏名	
国名	オーストラリア	学籍番号	
留学期間	2022年 2月 ~ 2023年 2月	記入年月日	2023年 4月 3日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: 教育			
科目名	AIX160 Introduction to University Study	科目名	EDU201 Educational Psychology
授業内容	大学での授業の受け方、参考文献の見つけ方や課題の進め方を1から習いました	授業内容	教育心理学 主に記憶のプロセスと教育理論について学習しました
授業形式	レクチャー(オンライン)セミナー(対面)	授業形式	レクチャー(オンライン)セミナー(対面)
単位数	1	単位数	1
サイズ	セミナー: 1クラス10人: 先生1人	サイズ	セミナー: 1クラス30~40人: 先生1人
難易度 Course No.	1	難易度 Course No.	2
宿題の量	課題は学期に4つ	宿題の量	課題は学期に2つ
コメント	大学に入ったばかりの生徒が多かったので、本的なことを習うことができました。また質問もしやすく、友達も作りやすい授業でした。ディーキン大学では学部によって参考文献の書き方が違うので、1度この授業でその知識を得られたことで他の授業の課題を進める時に大変楽になりました。また、課題が細かいステップに分かれていたため、都度先生と確認をして進めることができましたので、ついていくことができました	コメント	津田塾大学の教育心理学と重なる部分がいつかありましたが、主に記憶のプロセスと学習者のポテンシャルと成長効率についての学習をしました。課題が難しく、何度も先生に相談をして進めましたが、高評価は得られませんでした。文献をたくさん読み込み、自分自身の経験も入れ込む必要があるため、周りの生徒の話聞くことも大変勉強になりました。
科目名	EDU301 Culture, Diversity, and Participation in Education	科目名	ADD101 Design Thinking
授業内容	インクルーシブ教育についての学習(特に先住民、LGBTQIA, 障害のある人々の学習困難を克服する教育のあり方について)	授業内容	世の中の問題をデザインの工夫をして解決していく方法を考える授業でした。
授業形式	レクチャー・セミナーともに対面	授業形式	セミナーのみ(対面)
単位数	1	単位数	1
サイズ	セミナー: 1クラス5人: 先生1人	サイズ	1クラス20人: 先生1人
難易度 Course No.	3	難易度 Course No.	1
宿題の量	課題は学期に3つ	宿題の量	課題は学期に2つ
コメント	学部の中で最もレベルの高い3の授業だったので、周りの生徒が全員レベルが高かったことが印象的でした。クリエイティブを求められる課題もあり、とても楽しかったです。最後の課題はインクルーシブ教育をテーマに教育プロジェクトを企画し、プレゼンテーションとレポートでしたが、他の生徒からのフィードバックも得ることができ、大変勉強になりました。少人数のセミナーだったので生徒同士の結束も高く、先生もとても親身に相談に乗ってくれて、課題をなんとか乗り切ることができました。予習・復習に最も時間が必要な科目で、毎週15時間以上かけていました。	コメント	アートの分野の学生が多かったです。グループワークに挑戦したくてこの科目を履修しましたが、グループの他の学生はあまり意欲が高くなく、専門分野でない科目だったこともあり、難しかったです。毎回アクティビティが授業に吹き生まれていて、能動的な学びの体験ができました。どの授業もそうですが、この授業は特に自分のノートパソコンがないと受講が難しそうだと感じました。

科目名	EDU102 From Aristotle to Atars: The History, Philosophy and Future of Education	科目名	EDU202 Educators and dLearners
授業内容	教育理論の過去を参考に、これからの教育のあり方や教育の意義・役割を考える	授業内容	教室運営の仕方、授業の進め方と教育の意義についての学習をしました
授業形式	レクチャー(オンライン)セミナー(対面)	授業形式	レクチャー(録画)セミナー(対面)
単位数	1	単位数	1
サイズ	セミナー:1クラス12~15人:先生1人	サイズ	セミナー:1クラス15~20人:先生1人
難易度 Course No.	1	難易度 Course No.	2
宿題の量	課題は学期に2つ	宿題の量	課題は学期に2つ
コメント	教育哲学はあまり今まで深く学習してこなかった分野だったので、新しい学びが多く、予習が大変でしたが、その後に受けた授業に大きく関係していたので、履修してよかったと思いました。セミナーを受けていた全員がローカルの生徒だったので、ビクトリア州の教育制度についての前提知識がないとついていけない話が幾つか出てきました。また、授業中にその場で文献を読んで意見交換をする場があり、読むのが遅いために話に入ることができなかったので、先生に頼んで授業の前に資料をもらえるように配慮をお願いしていました。快く受け入れていただけました。	コメント	先生がインド出身の方で、アクセントになれるのにとっても苦労しました。クラスによって人数の差があり、少人数のクラスを希望していたので、最後の数回は1クラス2人(私を含む)に移動して授業を受けました。少人数のクラスの方が手厚いフィードバックを受けることができました。2つ目の課題は自分で教育プロジェクトを考え、授業の進捗を考えるものでした。指導案を作って細かくフィードバックをもらうことができ、とても勉強になりました。インクルーシブ教育が常に重要視されていて、今までとは違う視点で授業構成を考えるようになりました。
科目名	AIX290 Australia Today: An Introduction to Australia	科目名	ALM101 Making Social Media
授業内容	オーストラリアの歴史、文化、環境について学びました	授業内容	ソーシャルメディアを有効に使う方法について学習しました。
授業形式	レクチャー・セミナーともに対面	授業形式	レクチャー(録画)セミナー(対面)
単位数	1	単位数	1
サイズ	レクチャー:1クラス40人:先生1人	サイズ	セミナー:1クラス35~40人:先生1人
難易度 Course No.	1	難易度 Course No.	1
宿題の量	課題は学期に3つ	宿題の量	課題は学期に3つ
コメント	全員が留学生の授業で、初めてディーキン大学で授業を受ける生徒も多かった様子でした。オーストラリアの歴史(特に先住民や戦争について)と文化、環境について学習しました。10ヶ月近くオーストラリアに滞在してからの受講だったので、思い当たる部分もあれば新しく知ることもたくさんあったので、オーストラリアへの留学生として、履修して大変よかったです。先生たちが留学生へのサポートに慣れていて、相談もしやすかったです。いくつかの博物館や美術館をめぐってレポートを書く課題もあり、案内をしてもらって楽しかったです。	コメント	ソーシャルメディアを授業で使ったことがなかったので、とても新鮮でした。Twitterのアカウントを作って、そこにポストをすることで授業への参加を示していました。先生に気軽にTwitterで質問をすることができました。最後の課題では自分でポッドキャストを作り、自分の英語音読の成長を感じることもできました。授業では毎回グループワークがあり、他の生徒と交流することができたのも楽しかったです。情報の集め方も学ぶことができたので、授業以外でも役に立つ知識を得ることができました。
科目名	SLE103 Ecology and the Environment	科目名	
授業内容	オーストラリアの環境問題と解決策について学びました	授業内容	
授業形式	レクチャー(録画)集中講義(2週間のみ)	授業形式	
単位数	1	単位数	
サイズ	オンラインのため不明	サイズ	
難易度 Course No.	1	難易度 Course No.	
宿題の量	課題は学期に4つ	宿題の量	
コメント	グループワークに再挑戦したくて授業した科目でしたが、生徒全員のモチベーションが高く、大変良いプレゼンテーションができました。サイエンスの学生の必修科目のため、理系の学部の生徒が多かったです。オンラインのクイズが2回あり、そのための勉強に時間がかかりました。最後のレポートは自分でフィールドワークを行い、植物について考察をするものでしたが、満たさなければならない条件と必要項目が多く、難しかったです。課題の形式が教育系の科目の課題と全く違ったので、経験できてよかったです。	コメント	

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険	
	OSSMA Plus + 上乗せ海外旅行保険	
	留学先大学にあった医療保険制度	
わかりません		
留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)		
コロナワクチン(3回目・ファイザー製)		
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	95,390 円
	帰国旅費	859 円
	引越し(往復で)	0 円
	保険	824 99,940 円
	語学研修費	0 円
	留学先学費	24,120 円
	本学学費	200,000 円
	教材費	0 円
	住居費	16,100 円
	食費	3,000 円
	その他()	2,000 円
	()	円
	()	46,903 395,330 円
合計	4,522,827 円	
換算率 (<input type="text" value="1"/> = <input type="text" value="88"/> 円)		
受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください		
JASSO月額7万円		
8	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの	
	<p>顔に塗る用の日焼け止めは日本製のものの方がベタベタしなくて良いです。ウォータースポーツをするときには必ず全身オーストラリア製の日焼け止めの方が良いです。日本のお菓子を持ってきていれば、現地でもできた友達にあげることができていたのでよかったですらうな、と後から思いました。</p>	
留学前にしておけばよかったこと		
<p>空港のWi-Fiに繋ぐことができず、空港からホームステイ先までずっと連絡できない状態だったので、日本でSIMカードが準備できていたら心強かったらうと思いました。</p>		

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>ホームステイ先の交通の便があまりよくなく、どこに行くにもバスで20分以上かかる場所に順応することが難しかったです。シティに近いところに住む始めてからは、電車やバス、トラムをうまく活用して生活することができるようになりました。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>英語の発音が特に上達しました。今までは母音の違いをうまく意識できていなかったのですが、たくさんの発音を聞いて改善することができました。また、リスニング能力も向上しました。以前は音質の悪い電話などでは全く会話できなかったのですが、何度も経験することによって対面の会話と同等くらいに電話ができるようになりました。精神面では、問題発見能力と問題解決能力が向上しました。人に相談することが苦手で、以前は意図的に問題を見過ぎてしまうことが多かったのですが、問題が小さいうちに発見して改善策を考えたり、周りに相談したりすることができるようになりました。自分ではどうにもならないと思っていた問題に立ち向かって解決することができた成功例を経験できたので、挑戦することへのハードルも下がったように感じます。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>進路はまだ具体的には決めていません。英語圏の大学院を卒業して教員免許を取りたいと考えていますが、海外の日本語学校での勤務も視野に入れています。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>思い返すと、楽しい出来事ばかりの留學生活でした。初めは良い印象を抱いていなかったことに対しても、それによって成長できたので今では良い思い出です。英語の勉強は留学をせずともできる時代だとは思いますが、留学でしか経験できないことがたくさんありました。オーストラリアは特に様々な国からの移民を受け入れている国なので、世界各国の友達ができ、異なる文化や価値観を目の当たりにしました。自分の将来を決める前に留学経験ができて、とてもよかったです。留学をしなければよかったと後悔したことは一度もありませんでした。これから留学に行かれる方々、くれぐれも体調に気をつけて、楽しい留學生活をお過ごしください。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

(許可する(写真含む) 写真掲載のみ不可 許可しない)

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。

ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。



1枚目：SLE103の環境科学の授業のグループワークを行なったメンバーです。全員モチベーションがとても高く、プレゼンでは最高評価を取ることができました。今でも連絡を取り合う仲間です。



2枚目：JASS(Japanese Australian Social Society)のサークルで行った書道イベントの様子です。中国出身のメンバーは漢字が上手でした。全員思い思いに筆を走らせ、とても楽しかった。



3枚目：JASS(Japanese Australian Social Society)の委員会メンバーとして、勧誘イベントを開いた時の写真です。真ん中で帽子をかぶって手を広げているのが私です。